

## 斜林ベース併用工

- 斜面苗木固定具「斜林ベース」を用いて地域性在来種苗木を導入して早期樹林化を図り、自然景観と生態系を早期に回復します。



## A<sub>0</sub>ベース併用工

- A<sub>0</sub>ベース工法によって施工地周辺の森林表土に含まれる埋土種子（シードバンク）を活用して地域性在来種により、多様性のある生態系の回復を図る工法です。



QA INTERNATIONAL  
ACCREDITED COMPANY  
BS EN ISO 9001:2000

UKAS  
QUALITY  
MANAGEMENT  
Registration Number  
046

QA INTERNATIONAL  
ACCREDITED COMPANY  
BS EN ISO 14001:2004

UKAS  
ENVIRONMENTAL  
MANAGEMENT  
Registration Number  
046

QAIC/JP/0030      QAIC/JP/0031  
ISO9001 / 14001 認証取得



本 社 〒310-0903 茨城県水戸市堀町959番地  
TEL:029(225)2754(代表) FAX:029(227)2783

福島営業所 〒963-5321 福島県東白川郡矢祭町関岡字小坂77番地  
TEL:0247(46)2622(代表) FAX:0247(46)3288

## 自然再生緑化

新技術活用促進システム登録工法 NETIS No. KT-060121

# ウッドディベース工法

## 根株・伐採材リサイクル緑化



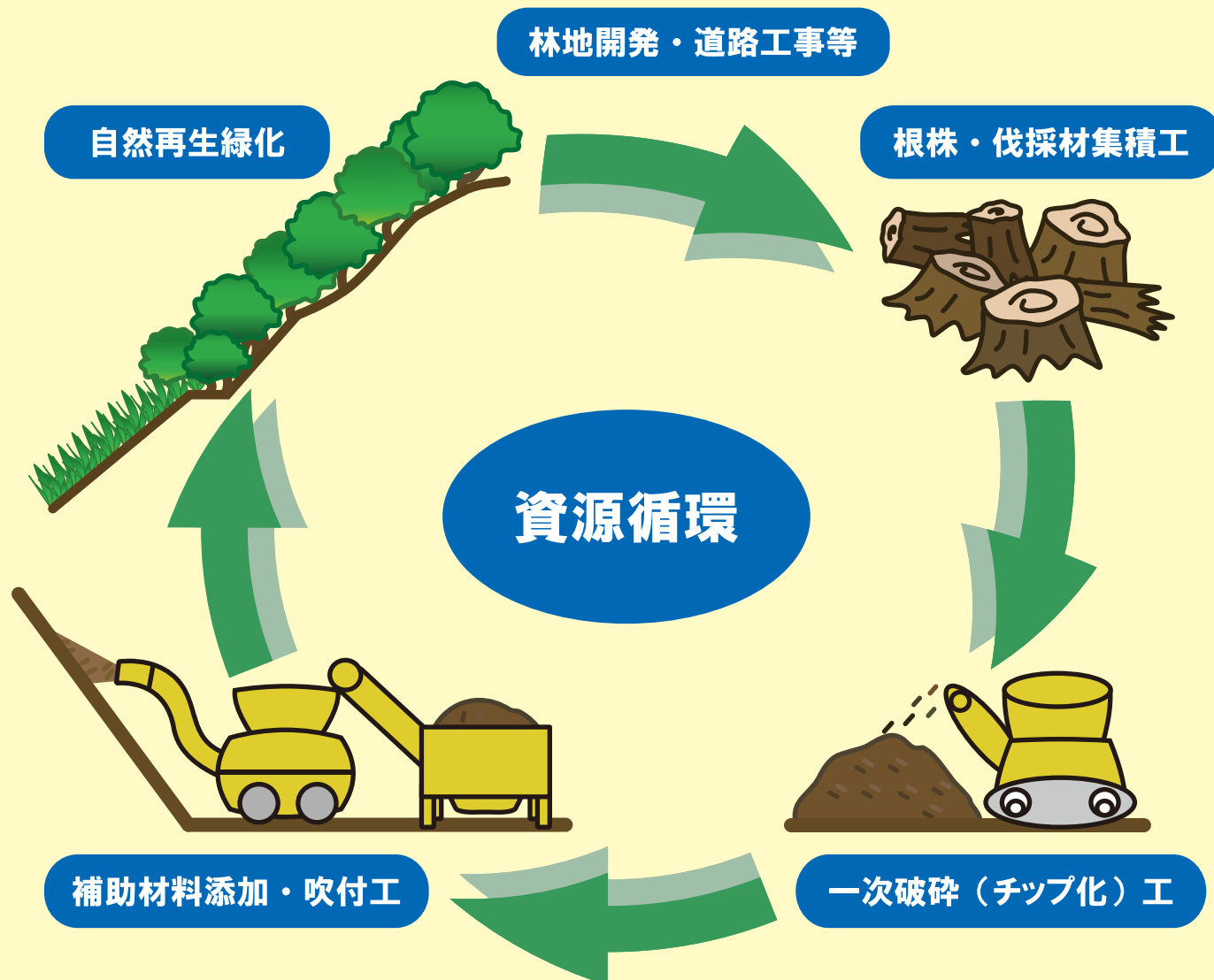
## ウッディベース工法の特徴

- 「根株」・「伐採材」等の「植物性発生材」を破碎して「リサイクル緑化基盤材」として有効活用します。
- 現場発生材をそのまま「未分解チップ化」して活用しコスト・工程の縮減が図れます。
- 耐浸食性・耐凍上性に優れた基盤を造成して「超遅速緑化手法」による「自然再生緑化」を実現します。
- 「遅延分解技術」によって「生育障害を回避」して安定した緑化が可能です。

## ウッディベース工法によるリサイクル緑化の流れ

### ゼロエミッション と バイオマス資源 の有効活用を実現。

その土地の植物性発生材を土壌有機物として、その土地に還元する循環型資源活用を実現します。超遅速緑化による自然再生緑化を可能にしました。



一次破碎（チップ化）工



補助材料添加・吹付工



吹付施工直後



施工後 12 ヶ月



施工後 16 ヶ月



施工後 24 ヶ月

## ウッディベース工法の標準配合 1.0m<sup>3</sup> 当たり

名称	規格・寸法	単位	数量	摘要
木質系破碎チップ材	一次破碎 50mm メッシュ	ℓ	1000.0	
分解遅速・保水剤	バイオフィ이버	ℓ	400.0	
微生物資材	ダルマセラミック	kg	5.0 ~ 10.0	基盤及び植物材料による
肥料	緩効性及び高度化成肥料	kg	6.0 ~ 11.0	基盤及び植物材料による
接合剤	高分子系	kg	1.0 ~ 4.0	基盤及び施工時期による
植物材料	種子・苗木等	式	1.0	緑化目的・目標による

※ 本配合は改良等のため予告なく変更する場合があります。